

『赤松家播備作城記』——解説と翻刻——

大村拓生・小林基伸

はじめに

元禄年中に成立した『赤松家播備作城記』は、年代がわかる近世の古城記のなかでは早い時期に属し、中世城郭の研究にしばしば参照されてきた史料である。本書は藤本哲氏によって全内容が紹介されているが、^①原本の体裁が反映されていないため、史料としては使いにくい面があった。そこで、あらためて全文を翻刻し、若干の解説を付して今後の利用に供することにした。

一 解説

(1) 伝来

『赤松家播備作城記』は、名古屋市鶴舞中央図書館が所蔵する河村文庫の一冊である。河村文庫

は、江戸時代後期の尾張藩士である河村家の蔵書に由来する。河村家は古典研究で知られ、秀頼(二七一八〜八三三)・秀根(二七二三〜九二二)兄弟、益根(秀根二男、一七五六〜一八一九)が「日本書紀」の研究にすぐれた成果をあげた。^②同家の蔵書は、秀世(秀頼父)・秀頼の蔵書(文会書庫)と秀根の蔵書からなり、秀根の没後双方を益根が継承した。その後、天保三年(二八三二)に秀璠(益根孫)が編集した「河村家蔵書目録」(河村文庫)に、『赤松家播備作城記』一冊が見えている。しかし、入手の経緯などは不明である。ちなみに、膨大な書籍名を記す同目録で確実に赤松氏関係と思われるものは本書を含め八点にすぎず、河村氏が赤松氏の関連史料を積極的に蒐集した形跡はない。

河村家の蔵書は、大正十一年(一九二二)、名古屋市に入り、翌年開館した市立名古屋図書館(現名古屋市鶴舞中央図書館)の蔵書となった。しかし、

昭和二十年三月十九日の空襲により全八〇〇六冊とされる蔵書の半数が焼失し、現存するのは約四〇〇〇冊である。⁽³⁾『赤松家播備作城記』も幸い焼失を免れ、現在に伝わる。

(2) 書誌

本書の書誌は、以下のとおりである。

和本、一冊、袋綴、明朝装、縦二三・五cm、横一七・〇cm。保護表紙に題箋「赤松家播備作城記全」が貼付され、黒印「河村秀頼本 名図」が一顆捺される。保護表紙裏に本文よりやや厚い紙が貼付けられ、糊付面に「赤松家播備作城記」と記される。裏の保護表紙裏にも同じ紙が貼られており、これらが原表紙であったと思われる。一丁表に、「河邨家蔵」（朱文方印）および「市立名古屋図書館蔵書印」（朱文方印）各一顆が捺される。本文は一面一〇行書、六八丁からなる。最終丁裏に市立名古屋図書館の登録印があり、登録日「大正十二年七月十五日」、登録番号「一六八〇七」を記す。なお、四〇丁裏の最終行の上余白に小さな円印一顆がある（印文不明）。

四三丁裏と六八丁裏に、著者剣持長視の次の跋文があり（二箇所同文）、本書が元禄ころの成立であることを伝える。

右城記者、以古記、元禄年中剣持一愚斎源視集成
長視（花押）

花押は形が描かれており、その限りでは本書が自筆本である可能性も考えられる。しかし、一五丁表に判読不能な墨付があり、その右に「虫損本ノマ、」と注記されることから、本書が写本であることはあきらかである。一部に虫喰いが見られるものの、状態はよい。

(3) 著者

右にあげた跋文により、著者剣持長視は元禄ころの人で、本姓源氏を称し、一愚斎と号したことがわかる。しかし、剣持長視に関して知られるのは以上にすぎない。なお、「日本古典籍総合目録データベース」によるかぎり、長視の著作は本書のみである。

同じころ、播磨に剣持清詮という人物がいた。清詮は「峰相記微考」（宝永二年刊）の著者である。

同書の元禄十一年（一六九八）自跋、同十五年玉井直道序などによれば、清詮は本姓源氏、字見立といい、一愚齋において「峰相記微考」を著した。越州に生まれ、播磨に来て坂本村に住んだという。ほかに「播州蓬萊山普光寺之記」（元禄年中撰）を著し、「播州名所拾録」の考証増補を行うなど、とくに播磨の歴史、地理に詳しかった。⁴このように清詮と長視には共通点が多く、同一人物の可能性があるものの、断定するには決め手を欠く。

いっぽう、美作には近世の史料で新免氏の被官とされる剣持氏がいた。⁵吉野郡大野保川上村に剣持土佐守屋敷と伝えられる場所があり、同郡讃甘庄西町村では名家であつたが、十九世紀初めには絶えていたという。⁶この剣持氏について本書は、赤松貞範の系統であるとする（二丁表）。また、剣持美作前司なるものを応仁の乱後の美作西郡守護代とし、天文ころの尼子氏乱入のおりには東郡守護代とともに防戦して討死したとする（四五丁裏・四六丁表）。さらに、「卷之下」（美作部）の表紙にあたる四四丁の裏には、城ごとの記事とは別に美作前司の居城とされる高屋城の位置が特記されている。

る。貞範との関係付けや西郡守護代とすることが長視の創作かどうかは明らかにしがたいものの、こうした剣持氏の扱い方からは、長視と美作の剣持氏とのつながりを推測することも可能である。清詮との関係を含め、剣持長視については今後の課題とせざるをえない。

（4）構成と内容

本書の構成と内容は以下のとおりである。

本書は大きく、「卷之上」（二丁表〜四三丁裏）と「卷之下」（四四丁表〜六八丁裏）からなる。「卷之上」は、赤松氏関係諸家の家名録（一丁表〜九丁表）および播磨の古城について記す「播磨部」（一〇表〜四三丁表）から構成される。「卷之下」は「播磨部」に対応する古城記「美作部」である。

「卷之上」末尾の四三丁裏には、先記のとおり剣持長視の跋文が記される。また、「卷之下」の末尾六八丁裏にも同文の跋文が記される。したがって、「卷之上」と「卷之下」は本来別々の冊子であつた可能性がある。そこから、やはり独立した冊子として古城記「備前部」にあたる「卷之中」

の存在が推測される。本書は写本であるから「巻之中」が存在しない理由についていくつかの想定が可能であるものの、それをあきらかにする手立ではない。ちなみに、先にあげた天保三年の「河村家蔵書目録」では一冊となっており、そのころにはすでに現状の形になっていたと思われる。

「巻之上」の家名録は、赤松一族二〇家、七条家一族八家、伊豆家一族五家、守護家一族一七家、「幕下同郎従宗徒侍」二六一家を記す。「幕下同郎従宗徒侍」は播磨、備前、美作（一部摂津もある）に及び、赤松氏の分国全体を対象としている。

古城記「播磨部」は、白旗城と置塩城を先頭に配し、その後郡別に古城を記す。白旗城と置塩城は別格扱いである。古城記「美作部」は、冒頭に建武から関ヶ原合戦までの美作の情勢を記し、続いて郡ごとに古城を書き上げる。

「播磨部」、「美作部」に記載された古城は、ともに一六三城である。城数は同じだが、記載内容は播磨が詳しく、むろん城により多寡はあるものの、歴代城主、その相互関係、在城時期、終焉の年などを記す。それにたいし、美作では概して記

事量が乏しく、城名と所在地だけのものも少なくない。さらに、播磨では神西郡を除き郡ごとに頁を替えているのにたいし、美作では頁の途中から郡が変わる。あくまでも本書が原著の体裁と内容を正しく反映していると仮定したうえでのことになるが、この相違は、著者の情報収集条件や編集態度の違いを示すものであろう。それはまた、剣持長視が本書を編んだ場所や関心の所在とも関わらずである。

(1) 藤本哲『赤松氏の史料と研究(二)』自費出版、一九八〇年。

(2) 河村家については、「学芸の革新」(『新修 名古屋市史』第四卷、一九九九年)、阿部秋生『増訂復刻河村秀根』(『河村秀根』増訂復刻版刊行会、二〇〇二年、原著一九四二年)などを参照した。

(3) 『名古屋市鶴舞中央図書館五〇年史』(名古屋市鶴舞中央図書館、一九七四年)。河村文庫の目録として『市立名古屋図書館別置図書目録1(未定稿)』(大正末年力)がある。

(4) 八木哲浩「播陽万宝智恵袋解題」(『播陽万宝智恵

袋』下巻、臨川書店、一九八八年)。「播州蓬萊山普光寺之記」、「播州名所拾録」は同書に収められている。

(5)「東作記」所収「新免家侍帳」(『新訂作陽誌』第七巻(復刻再版)、作陽新報社、一九七五年、原著一九一三年)。「新免家系并吉野古城落去物語」(『大原町史』史料編(中)、二〇〇六年)。

(6)前掲「東作記」。

(小林)

二 翻 刻

翻刻にあたっては、以下のとおりとした。翻刻は大村拓生が担当し、小林とともに校訂した。

- ・字体は原則として常用漢字を用いた。ただし、峯、嶋などそのまま用いたものもある。
- ・合字は仮名で表記した。

・朱筆は『』、朱線はアミ線、朱の○、●はアミ懸けで示した。ただし、記号で表示しにくい箇所では文字で注記した。

・欠損などにより判読不能な箇所は□で示した。

- ・文字が抹消されている場合、文字の左傍に「ゝ」をつけ、文字が判読できない場合は▨とした。
- ・編集者が加えた傍注には()を付した。誤字や欠損した文字が推測できる場合には()
- (カ)、脱字は(脱)(脱カ)、意味不明の場合は(ママ)とした。
- ・文字の配置はなるべく原史料の体裁を反映するように努めた。本文、割書の改行は原史料にしたがい、読点は付さなかった。ただし、形式的な統一を行った箇所もある。
- ・文字間の小さな丸は、挿入を示す場合は「の」、単なる区切り点と思われる場合は「。」とした。
- ・返り点は原史料どおりとした。

※本稿は、大手前大学史学研究所(研究プロジェクト「寺院・城館と地域社会に関する総合的研究」と兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室の連携による成果である。

【付記】本稿校了直前に、古野貢「史料紹介『赤松家播備作城記』」(『武庫川女子大学資料館紀要』五、二〇一年)の存在を知った。不手際をお詫びする。

赤松家播備作城記

名古屋市鶴舞中央図書館蔵

(表紙)

河村秀穎本
〔黒印〕
名

〔題箋〕
赤松家播備作城記

全

(見返し貼付面)
赤松家播備作城記

〔二丁表〕

赤松家播備作城記卷之上

○右行には朱の二重線が引かれている。

(一行空白)

赤松一族

別所
播州加西郡別所
郷後住三木郡

光枝
播州飾西郡光枝
村後住「備前国」

○右行左の「アミ線は、文字の中央に朱線が引かれていることを示す。以下同。

野中

釜内
播州完栗郡石造
庄岸田村住
(六粟)

櫛田
播州佐用郡櫛田
村

間嶋
播州佐用郡

福田
播州

太田
播州神東郡瀬賀
郷住又赤穂郡住

○頁右下に朱印「市立名古屋図書館蔵書印」および朱印「河邨家蔵」あり。

上月
播州佐用郡上月
西庄又加東郡川
台庄住

広山
播州

矢野
播州加東郡河合
庄住

宇野
播州佐用郡宇野
庄後完栗郡住
(六、以下同)

佐用
播州佐用郡

江見河原
播州佐用郡

小寺
播州飾東郡広峯
住人同郡姫路住

萩原
揖西郡賀茂庄住

○七条家一族
赤松嫡流信濃守
範資子孫
(官)

七条
七条左衛門尉
光範

本郷
播州佐用郡本郷
又多賀郡妻郷住

広岡
播州揖東郡太田
庄住

永良
播州神西郡永良
庄又加東郡拾一
丁住

(一行空白)

〔二丁表〕

○伊豆家 赤松次男家筑前守
貞範子孫

伊豆 播州

稲田 播州

塩田 播州

劍持 作州

別名 播州

（一行空白）

○守護家 赤松三男家權律師
則祐子孫

有間^{（馬）} 撰州有馬郷^{（郡）}

●孝橋 播州印南郡

●安室 播州赤穂郡安室
庄

明石 備前児嶋郡

●小河 播州赤穂郡小河
庄

上野

大河内 播州飾西郡賀
谷郷住

同

北畠 播州明石郡

明石 播州明石郡

下村 播州完栗郡住也
宇野家

石原 播州多賀郡住
小寺家

豊福 播州佐用郡豊福
庄又賀東郡住

中嶋 作州
赤松氏範家

熊見 播州佐用郡住
宇野家

仲村 播州加東郡川合
郷住

淡河 播州三木郡淡河
住

（一行空白）

幕下同郎從宗徒侍

恒谷 播州神西郡恒屋

浦上 播州飾西郡置塩
郷住又備前住人

〔三丁裏〕

大野 美作

戸田 播州完栗郡

高橋 播州神西郡

香山 播州揖東郡香山
庄

中村 播州赤穂郡
又完栗郡

竹内 播州赤穂郡

小林 播州完栗郡

猪尾 播州加東郡
東条郷

原 播州印南郡

河田 播州揖東郡坂上
村

〔三丁裏〕

福原 作州

喜多野 播州飾西郡置
塩郷下村住

福岡 備前

衣笠 播州揖西郡平位
庄

上原 播州神西郡

円山 播州揖西郡

安積 播州完栗郡

中山 播州赤穂郡安室
庄

竹田 播州赤穂郡

八木 播州揖東郡

佐野 播州揖西郡千本
邑

原田 播州揖東郡林田
庄

内海 播州揖西郡
又佐用郡

沖 播州揖西郡

山本 播州揖西郡片嶋庄原村

肥塚 播州揖西郡中嶋村

松原 播州揖西郡

田路 播州完栗郡

長谷川 播州揖西郡

森 播州赤穂郡

谷村 播州

小谷 播州

牛尾 播州

〔四丁表〕

足田 播州

横山 播州

楮原 美作

真嶋 播州

野村 播州加古郡

赤井 播州

小宅 播州揖西郡

満田 播州揖西郡

三宅 播州揖西郡

有野 摂州

江藤 播州揖西郡

春名 播州完栗郡

八代 播州揖西郡

江見 美作

栗井 美作又播州

井口 播州

横田 播州

横野 播州

九尾 播州

大谷 播州

山下 播州印南郡

岡田 播州

平田 播州

長井 播州

湯浅 播州

本庄 作州

〔四丁裏〕

服部 播州

関 備前

福井 備前

後藤 播州神東郡又多賀郡

宮本 美作

佐々木 播州

井門 播州

岡部

舟曳

平瀬

〔五丁表〕

岸

山田 播州

井上 播州

谷口 播州

岡 播州

白谷 播州

長船 備前

加藤 播州

斎藤 播州

秋田 播州

小南 播州

伊東

合田

早瀬

小比江

来住 播州加東郡河内郷

赤城	蒲生	櫛橋	吉田	片岡	清水	広戸	〔五丁裏〕	牧	安藤	神口	薬師寺	神免	鳥井	渡辺	嶋津	石見
播州赤穂郡		播州印南郡志方庄				美作			美作			美作国吉野郡新免氏			播州揖東郡	

本位田	白石	亀田	幸嶋	三浦	高瀬	志水		華房	遠藤	高田	陰山	児玉	塩谷	長尾	平位	源明
播州				美作		美作		備前国又美作	美作						播州揖西郡平位庄	

岡崎	公又	〔六丁裏〕	奥藤	鮑浦	浮田	和気	平尾	幸畑	完耳	江道寺	北林	坂部	〔六丁表〕	有元	小坂	懸
				備前	備前	備前	播州							美作		

渋谷	菅井	劍持	水嶋	下司	服田	本木	開谷	久知	由木	川副	植月		河本	鈴木	陶
		美作				モトキ				美作	美作				

千葉
早川
高倉
松井 播州
妻鹿 播州
田中 播州
神沢
鷹取
〔七丁表〕
檜崎 美作
長田
伊勢
魚住 播州明石郡
大塩 播州印南郡
小牧
小原 美作
松田 備前

赤星
富原
児嶋
菅
平野
河原林
福光
武部
栗生田 播州
小国 播州
匹壇^{ヒキハタ}
河匂
曽根 播州印南郡
飯田
杉原
河村 備前

福林寺^{タチハナ} 備前
〔七丁裏〕
能勢
伊原
梶原 播州加古郡
塩川
池田
渡瀬
内藤 播州又備前
三和
曾川
二階谷
〔八丁表〕
尾崎
岩佐
天野

頓宮 備前
栗山 播州
飽間
神吉 播州印南郡
〔ソノヘ〕
蘭辺
和田
小森
古川^カ
海智
三輪
須藤
三村
小倉
海老名 播州赤穂郡
安井

栗原
村上
黒田 播州多賀郡
岩倉
垂井 摂州
大西
岡村
〔八丁裏〕
庄屋
安丸 播州神東郡大山庄
相川
英保 播州
白国 播州飾東郡
堀江 播州
室田 播州三木郡
阿生 播州
嶋村 播州

川辺
山内
河原 播州^{〔加〕}如西郡須富庄
野口
堀 播州神西郡
大黒 摂州
上田
布施
鳥居田 播州飾西郡置塩郷
城所
高見 播州
小柴 播州
稲田 播州
嵯峨山 播州飾西郡菅生庄
糟谷 播州加古郡
角田 播州

多賀谷 播州
〔九丁表〕
小瀬 播州
富田 播州
岩崎 播州
生越 播州
位田 播州
大村 播州^{〔ママ〕}木郡
佐谷 播州加西郡
荒田 播州多賀郡
野間 播州
〔一行空白〕
〔九丁裏〕
〔空白〕
〔十丁表〕
赤松家播備作城記
白幡城 赤穂郡赤松庄

水田 播州
依藤 播州加東郡東条郷
大塚 播州神西郡
三嶋 播州神東郡
船橋 播州
長浜 播州印南郡
油井 播州^{〔加〕}如東郡
世良田 播州^{〔加〕}如西郡
真野^{マノ} 播州
播磨部

赤松從三位侍從源季房 具平親王九代孫也
自天永二年辛卯為

播州守護職下向シテ而
初築之為居城也 同播磨守季則 一子也自
保延二年

相 同播磨守賴範 長子也自保元
三年相統也 同伊豆守則

景 長子也自嘉応元年相統。建久
八年移住佐用郡長谷高山城 同兵部少輔

家範 嫡子也自建
久八年相統 同播磨守久範 嫡子也自建
保六年相統

同民部太輔茂則 長子也自寛
元三年相統 同内記茂利 弟也

自嘉元二年相統 同播磨守則村 長子也自正
和五年相統 同信濃

守範資 養子也実父茂則男
自貞和二年相統 同治部太輔光範

〔十丁裏〕

長子也自応安
元年相統 同太膳太夫義則 養子也実父
則祐男自永

德元年 同太膳太夫滿祐 長子也自応
永十年相統 同播磨

守教康 一子也自永
享七年相統 落城 嘉吉元年。滿祐。教康
父子謀叛故播備作

一族二十三人從士數百人一時亡矣賜播州ヲ
於山名右衛門督持豐作州於山名修理太夫

教清備前於山
名相模守教之

置塩山ノ城 飾西郡
置塩郷

赤松從三位源政則 赤松円心六代末孫也自
応仁元年播州大守也故

再當姫路城ヲ同文明元年初築之
為居城而復播備作之旧領也 同播磨守政

村 養子也実父ハ七条刑部少輔
政資子也相統矣 同左京太夫晴

政 長子也
相統 同左京太夫義祐 長子也晴政義祐
不徳故三国侍太
(ママ)

〔十一丁表〕

侍背也東播磨八郡ハ者属別所家ニ西播磨五郡ハ
者属同名下野守政秀備前浦上氏浮田氏者

自立作州ハ者属ニ
尼子家。毛利家 同上総介則房 長子也
相統 落城 天

六年三月為羽柴筑前守秀吉
移阿波国井之津而断絶ス矣

〔以下余白〕

〔十二丁裏〕

林ノ城 ハヤシ
明石郡
林崎庄

別所山城守賀相 加賀守就治二男居城也天
正六年籠于三木城故落城

也

清水。水田ノ城 明石郡
清水村

赤松左馬助則頼 筑前守貞範二男也居
城所嘉吉元年落城也

神出ノ城 カンデ
明石郡
神出庄

神出左衛門尉範次 赤松治部太輔光範二男
也居城所嘉吉元年落城

寺谷城 明石郡
櫛谷庄

衣笠豊前守 居城也天正六年于
三木城与力故落城

人丸塚山ノ城 明石郡 当津庄大明石邑

〔十二丁表〕

赤松常陸介祐尚 太膳太夫義則二男也 嘉吉元年落城也

カニカサカ
和坂ノ城 明石郡 林崎庄

赤松伊予守義雅 太膳太夫義則五男也 居城所嘉吉元年落城也

魚住城 明石郡 魚住庄西嶋

魚住伊予守 居城也 天正六年三木城与力故落城也

〔以下余白〕

〔十二丁裏〕

三木ノ城 三木郡 久留美庄

別所太蔵太輔則治 采地三木郡自三応仁元年居城。東播磨八郡侍太將。

赤松ノ家 長臣也
同加賀守治友 相統
同加賀守就治 相統

太蔵少輔安治 長子也 相統
同小三郎長治 長子也 相統所

天正八年正月十八日 為三羽柴秀吉一自害落城

ヲゴ
淡河ノ城 三木郡 淡河庄

淡河彈正忠定範 具平親王二十三代孫也 (天脱) 正七年三木城与力故落城

満田ノ勝尾山城 三木郡

萩原又四郎 有馬播磨守国光ノ子也 永祿年中居城也

〔一行空白〕

〔十三丁表〕

荒田ノ城 多可郡 高多郷

荒田修理亮 居城
池田源五郎 居城
在田権八郎 居城

(ママ)
天正年落城也

野間ノ城 多可郡 野間郷

在田修理太夫 居城所三元龜年中別所主水頭重棟於三加西郡青野一害レ之落城

シデハラ
仕出原ノ城 多可郡 野間郷

野間孫九郎 居住所依ニ赤松左京太夫義祐ノ命ニ自国彈正討レ之也在田ノ家臣

在田右衛門 居城所三天正 (ママ) 年落城也

シモヒエ
下披絵ノ城 多可郡 妻郷

本郷弥三郎頼兼 本郷掃部助直頼ノ子也 采地ハ多可郡居城
同弥

〔十三丁裏〕

三郎頼之 居城
同河内守頼木 相統居城所ニ嘉吉元年落城也

大山ノ城 多可郡 大山ノ庄

安丸兵庫助 再當シテ之自ニ文明元年ニ為ニ居城也
同二郎左衛門尉

家綱相統也 同河内守光綱相統也 同筑後守同左

近相統居城所天
正年中落城也

(以下余白)

〔十四丁表〕

長町金罐ナカテウカナツルヘ 城加東郡
川合郷

間嶋六郎景長赤松播磨守頼範末孫也初テ築
レ之為三居城也

同左馬助光景長子也 同中村五郎三郎景広相統

光景四世孫也 同六郎景光養子也実父者中山五郎
左衛門尉光能ノ子也相統

同彈正忠正景長子也相統采地ハ者長町村鹿
野村久保木村中野村下里郷

同丹後守正勝長子也嘉吉
元年落城也

『重』

中村小四郎正光正勝ノ子祐直一子也祐直ハ者
長祿二年八月於吉野討死ス

依此ノ功川合両郷下里ノ郷
賜テ之ヲ再築ニ当城ニ為ニ居城ニ 同小四郎満滋正光
子也

相統ノ所天文二年八月二日夜為ニ
別所九郎左衛門尉就治ニ自害落城

〔十四丁裏〕

新部上月カウツキ 城加東郡
河合郷

上月二郎赤松入道性具築ニ当城ニ
為城代ト。嘉吉元年ニ落城

『重』

上月治部少輔再ニ當シテ之自文明
元年居城也 同二郎相統 同甲

斐守相統 同二郎相統。家臣ハ栗津対
馬同子右京父子 同鶴(ママ) 代丸

相統居城ノ所ニ天正六年
三木城ニ与力故ニ落城也

阿形。北林城加東郡
川合郷

油井土佐守居城ノ所ニ天正六年
三木城ニ与力故ニ落城

中村城

光枝三郎正頼赤松播磨守季則ノ三男也初テ築
レ之為三居城也

〔十五丁表〕

来住城加東郡
河内郷

来住安芸守惟友初築レ之自三正和
二年ニ為ニ居城ニ 同安芸守景

友同ノ子也 同安芸守景能同子也 同安芸守沙

弥祐班同子也 同安芸守景利同子也 同安芸

守友世同子也 同安芸守景房同子也 同安芸

守貞景同子也 同安芸守景直同子也 同源三

郎景利同子也采地ハ来住村黍田村ハ瀬村。三
虫損本ノママ

木郡ノ内。石野庄。多賀郡ノ内高多郷也相

統居城ノ所ニ天正六年
三木城ニ与力故落城

瀧野城 加東郡
瀧野庄

赤松左兵衛尉重氏 赤松信濃守範資七代孫
也永正年中居城

〔十五丁裏〕

毘沙門坂城 加東郡
東条郷

赤松淡路守満弘 信濃守範資三代孫也初築
レ之為ニ居城ニ而后明徳年中移ニ

于作州
高田城

岩屋城 加東郡
東条郷

赤松兵部少輔祐之 太膳太夫義則ノ三男
也居城ノ所ニ嘉吉元年ニ落城

小田城 加東郡
東条郷

依藤山城守光勝 初名助兵衛尉又駿河守後
山城守也依藤太郎左衛門

尉豊房子也
居城也 同山城守 相統也永祿
年中落城也

三草山城 又号ニ朝光城ト
加東郡福田ノ庄

有馬出羽守則友 有馬出羽守則貞
子也初築レ之居城 同左衛門

〔十六丁表〕

尉友如 長子也相統所
嘉吉元年落城

『重』

喜多野十郎左衛門尉政房 又再ニ營シテ之天文
年中居城

拾一城 又。戸市又拾一又豊地トイテ
加東郡東条郷吉田新庄

永良彦太郎泰秀 赤松信濃守範資四代ノ孫也
初居城ノ所ニ嘉吉元年落城

『重』

別所孫右衛門尉重棟 加賀守就治四男再ニ營シテ
之ニ為ニ居城ニ永祿年中移ニ

于飾東郡
庄山城ニ

（以下余白）

〔十六丁裏〕

善防師ノ城 加西郡
笠原ノ庄

赤松左馬助則繁 太膳太夫義則九男也居城
所ニ嘉吉元年落城也 当城

者先祖赤松信濃守範資築レ之
為ニ城代ニ家臣等ノ侍守レ之 (ママ)

戸野城 加西郡
山下ノ郷

在田肥前守朝則 赤松信濃守範資二男也
初築レ之応安年中居城 同

弥次郎則康 同子也相統ノ所ニ
嘉吉元年ニ落城

（一行空白）

在田肥前守 再ニ營シテ之自ニ文明元年ニ居
城也 同左近 相統

同右近 相統ノ所ニ天文十一年
為ニ雲州尼子ニ落城

小谷城 加西郡
北条郷

〔十七丁表〕

宇野左京太夫 宇野新太夫將則
五代孫也初築之 同

『重』

赤松刑部少輔直祐 本名字野也再營之居城
所天文十一年為雲州尼
子落城
自害也

畑ノ之城 加西郡
須富庄

河原河内守 采地須富庄
居城永祿年中

満久ノ城 加西郡
富家庄

内藤与二郎 自建武年中
居城

（一行空白）

佐谷城 加西郡
在田庄

〔十七丁裏〕

佐谷六郎左衛門尉 自親応年中居城
也 同六郎

左衛門尉 相 同六郎左衛門尉
統 同六郎左衛

門尉 相統ノ所嘉吉
元年落城

別所城 加西郡
在田庄

別所刑部少輔賴清 赤松播磨權守季則
二男也初築之居城 同刑

部少輔 相 同刑部少輔 相 同刑部少輔 相 同五

郎左衛門尉敦光 養子也実父ハ五郎
法師円光ノ子也相統 同肥前

守光則 同子也 同肥前守光賴 同子也
相統 同肥前

守賴治 同子也 同肥前守光治 同子也相統ノ所
相統 嘉吉元年落城

芥田城 加西郡
在田庄

〔十八丁表〕

世良田二郎 居城ノ所応仁元年十月赤松二郎
政則之為シテ名代ニ於ニ当城ニ合戰

（以下余白）

〔十八丁裏〕

高砂城 加古郡
厨屋庄

梶原出雲守 自文明元年
為ニ居城ニ 同出雲守同平三兵

衛尉 相統居城所天正五年為
別所小三郎長治ノ落城也

野口城 加古郡
野口庄

永井四郎左衛門尉 采地野已庄八箇村。居城
所天正六年為羽柴秀吉ニ

城落

長砂城 加古郡
加古庄

生越市内守レ之天正六年落城

細田城加古郡加古庄

船橋五郎左衛門尉守レ之天正六年落城

〔十九丁表〕

石守城加古郡加納郷

仲村新五郎修理太夫重房孝橋修理亮秀時長子也居城。天正

二年三月三日籠ル于三木ノ城ニ故ニ落城矣又赤松家伝曰孝橋臣居城重房少時隠レ住スト矣

西条城加古郡尾上庄

有馬播磨守国光赤松播磨守政村ノ四男也永禄元年落城矣

宗佐城加古郡尾上庄

佐用修理判官刑部少輔教政初築レ之為ニ居城ニ永享嘉吉忠仁

文明年中ニ至ル也上原備後守自ニ永正年中ニ居城同兵庫相統居城ノ

所ニ天正六年落城

野村城加古郡尾上庄

〔十九丁裏〕

野村越前守自ニ文明元年ニ居城同越前介入道周阿

弥相統天文年中落城

二見城加古郡厨屋庄

大原文蔵梶原平三兵衛尉叔父居城天正年中落城

〔以下余白〕

〔二十丁表〕

中道子山ノ城印南郡志方庄

孝橋新五郎繁広赤松氏。采地ハ印南郡賀古郡。明石郡。加西ノ内綱引村同

赤松和泉守政頼同長子相統同孝橋修理亮秀光同長子相統

同長子相統同修理亮秀時同長子也相統ノ所ニ天文年中移于佐用郡上月

西ノ庄浅瀬山城ニ也為ニ城代一原右京守レ之至ニ元龜二年ニ孝橋家領ト矣孝橋ノ家臣ハ四人原右京。櫛橋

豊後。平田万助。内海惣左衛門

西飯坂。天神山ノ城印南郡志方庄

赤松弾正少弼氏範赤松円心ノ四男也初築レ之為ニ居城ニ也櫛橋

豊後守赤松家目代采地ハ志方庄。嘉吉元年落城也

『重』

〔二十丁裏〕

櫛橋豊後守則伊自ニ文明元年ニ再ニ營シテ之居城同左京亮相統

左京亮秀則相統居城所ニ当城用水不足故ニ永禄年中移于志方庄。船原城ハ也

志方船原城 印南郡志方庄

原河内守季範 自永久元年居城。志方庄地頭職 同河内

守兼俊 同子相統 同河内守清基 同子相統 同次郎重家

同藤次郎重政 同子相統 同河内守重澄 重家

舍弟 同河内守兼重 同子相統 同河内守重氏 同子相統

同河内守重道 同子相統至文保元年居城也

移于加東郡来住城也

櫛橋左京亮秀則 永祿年中再當之 同左京亮

〔二十一丁表〕

秀尚 同子相統居城所天正七年七月十六日為羽柴秀吉落城

同志方城 村南二町計

高橋平左衛門尉 守之天正六年三木城与力故落城

助永城 印南郡志方庄曰構城

櫛橋氏 守之天正六年落城

神木城 印南郡平庄

高橋平左衛門尉 居城采地平庄天正六年籠于三木城故落城也

井口城 印南郡都染保

依藤三河守 初築之居城也 同小八郎治定 養子也実父別

所大藏太輔安治末子。天正六年籠于三木城故落城

〔二十二丁裏〕

神吉城 印南郡神吉庄

神吉備前守 初築之居城 同越前守 相 同民部太輔

相統居城所天正六年七月十六日為羽柴秀吉落城

加古川城 印南郡鷹南庄

糟谷内膳 居城所天正六年屬羽柴秀吉時破城

魚崎城 印南郡伊保庄

位田長兵衛尉 守之天正六年落城

北脇城 印南郡大塩庄

大塩右馬允 本名渡辺氏自文明元年居城 同次郎 相 同小六

相統天正六年落城

〔二十二丁表〕

山下五郎左衛門尉重氏 自文明元年居城 同五郎

左衛門尉職重 山下者土岐末流也相統居城所天文年中落城

中筋城 印南郡伊保庄

曾根新右衛門尉 自_ニ文明元年_一 同新右衛門尉 相_ニ統_一

同藤市郎 相_ニ統居城_一所_ニ天正六年_一落城

阿弥陀宿城 印南郡伊保庄

曾根宗太郎 居城_ニ天正六年_一落城

福居城 印南郡大塩庄

大塩半左衛門尉 居城_ニ天正六年_一落城

〔二十二丁裏〕

砥堀_{トホリ}ノ城 神東郡蔭山庄

桂兵衛尉 自_ニ文明年中_一居城

藪田城 神東郡蔭山庄

当城者太尾_{フトヲ}ノ城ノ之輔城也

太尾城 神東郡蔭山庄

後藤伊勢守基信 自_ニ文明元年_一初為_ニ居城_一 同彈正忠尚基

同彈正忠純基同与二郎基次同新左衛門尉

入道浄基同与二郎 相_ニ統居城_一所_ニ天正六年_一三木ノ城_ニ与力故_ニ落城_一

春日山城 神東郡八千草郷

塩谷上野介 居城_ニ天正六年_一籠_ニ于_一三木城_一故_ニ落城_一采地_ハ八千ノ郷_ヲ領_ス(草脱)

〔二十三丁表〕

川述山ノ城 神東郡川述庄

岩崎六右衛門尉 守_レ之_ニ天正六年_一落城

同川述。構城 川述村_ノ之南

大野七郎右衛門尉 守_レ之_ニ天正六年_一落城

小畑城 神東郡川述庄

栗生田内膳 守_レ之_ニ天文年中_一落城

屋形。飯盛山城 神東郡川述庄

赤松兵部少輔晴政 初為_ニ居城_一而_ニ后_一移_ニ于置塩山_一城_ニ 高橋備後

守 居城_ノ所_ニ天正六年_一落城

瀬賀城 神東郡瀬賀郷

〔二十三丁裏〕

太田筑後守 自_ニ文明元年_一居城也 同筑後守入道 相_ニ統_一

道祖法師 相_ニ統_一同源太夫 相_ニ統采地瀬賀郷_一半分_ニ領_ス天正六年_一落城也

『重』

中村城 神東郡栗賀庄

三嶋四郎ヒト因守レ之天正
六年落城

柏尾城神東郡
柏尾保

粟生田信濃守同阿波守同右吉
相統居城天
正六年落城

(一行空白)

寺前ノ城神西郡
大河内庄

大河内右兵衛尉居城永禄
年中
同河内守
養子実粟
生曰信濃
守子也

(二十四丁表)

田野城神西郡
南条郷

城兵庫助采地南条郷又完粟
郡内自文明元年居城
同出雲守
相統

同兵庫助相統
同出雲守秀世
相統居城。天正三
年病死落城

矢田部城神西郡
北条郷

大塚越前守
居城天正
六年落城

常屋城神西郡
高岡庄。号ニ飯森山ノ城ト

恒屋伊賀守初居城采
地高岡庄
同肥前守
同子也天正
二年逆心シテ而

為ニ大守赤松義祐
被レ計一伐落城断絶
(討カ)

永良稻荷山ノ城
又号ニ残要ノ城ト
神西郡。永良ノ庄

永良三郎則綱
赤松信濃守範資八男也
初築レ之為ニ居城采地ノ永良庄
同

(二十四丁裏)

三郎則泰同子
相統
同彦太郎泰秀
同子移ニ于加東
郡拾一ノ城ニ城代

守レ之所ニ嘉吉
元年落城也

『重』

広瀬近江守雅親
左近将監満親嫡孫也
自ニ応仁年中再一営シテ居城シテ而守

レ之所一揆發故ニ討死也而后者自ニ大守政村一為ニ
在番ニ家臣守レ之永禄年中者広峯新四郎在番

所ニ別所氏
攻落也

鶴居山城神西郡
永良庄

当城者永良城ノ之輔城也故ニ永良ノ領主代々持

下沢城神西郡
沢之郷

赤松伊豆守時政
神東郡屋形ノ城ニ居住ノ之時為ニシテ
下屋敷ニ家臣守レ之

(二十五丁表)

姫路山城飾東郡
国衙庄

赤松筑前守貞範
貞和五年初築レ之為ニ居城ニ而
后又移ニ于同郡庄山城ニ也

小寺相模守頼季
赤松從三位季房八代ノ孫也
相統シテ而居城ト矣赤松家目代

同藤兵衛尉景治
二男也
同豊後守景重
同長
子相

同伊賀守職治
次男也相統所ニ
嘉吉元年落城

『重』

赤松二郎政則 赤松円心六代孫也自文明元年五月「再」營之居城同三年移

于飾西郡。置塩小城也。小寺伊勢守豐職 自文明三年居城赤松家目代

同加賀守則職 末子也 同美濃守職隆 長子也 相統所

天正五年十月為羽柴秀吉「落城也」

〔二十五丁裏〕

庄山城 飾東郡 星田保

赤松筑前守貞範 円心二男也初築之居城也 同越前守顯

則 同長子 同伊豆守貞村 顯則嫡孫也 同伊豆

守元祐 貞村孫 同伊豆守 相統 同伊豆彦五郎 相統

居城所「永祿年中別所大藏太輔攻」取 別所孫右衛門尉重棟 守之

天正五年属羽柴秀吉「故」為「破城」也

御着。天川ノ城 飾東郡 三野庄

小寺藤兵衛尉正職 美濃守職隆ノ長子也天正五年十月為羽柴秀吉「落

也城

同場山城 飾東郡 三野庄

〔二十六丁表〕

黒田官兵衛尉考隆 (ママ) 後号「如水」居城天正五年属羽柴秀吉「故」破城

英保城 飾東郡 大野郷

英保和泉守 自「応仁」年中文明元年「居城也」采地「東西」英保 同彈正子

相 同太膳 同子相統所「天正五年」落城也同所北構者舎弟左京居矣同舎弟二郎

左衛門 同住矣

山崎城 飾東郡 谷之保

長浜備前守 初居 同但馬守 相統 同河内守長秋

相統所「天正六年」落城

妻鹿。国府山ノ城 飾東郡 三野庄

妻鹿孫三郎長宗 本名。岩氏。薩摩守源氏長ノ末孫也初為「居城」也

〔二十六丁裏〕

赤松刑部太輔貞祐 伊豆守貞村ノ二男也 再「營」之為「居城」 同伊

豆守元祐 同子也使「家」臣 守之「永祿」年中被 黒田官兵衛尉考 (ママ)

隆入道如水 天正八年再「營」之居城也 而后破城矣

有明城 飾東郡 国衛 庄増位山

黒田休夢斎善慶 号「安芸」法印「増位」山地藏院也黒田如水ノ弟矣自「天正五

年」為「城主」而后破城

広峯山城飾東郡
国郷庄

小寺河内守頼景赤松秀房八代
孫也居城 同藏人清治

同子 同三郎頼綱同二男
也相統 同広嶺五郎頼泰同子

相統居城元弘乱属赤松円心而后者
当城者。社務。神官一党而持

〔二十七丁表〕

国府寺。宇屋城飾東郡
国郷庄

伊東刑部左衛門尉景春居城所天正
五年落城也

〔以下余白〕

〔二十七丁裏〕

〔空白〕

〔二十八丁表〕

西坂「本構」城飾西郡
飾部庄

赤松太膳太夫満祐入道性具初築レ之使シテ
城代守之 龍門

寺直眞操侍者満祐舍弟也揖西郡龍門寺ノ住持
矣嘉吉元年乱少時守当城同九

月十四日
計死落城

同天神山城

大河内越中守実泰天文年
中守レ之 魚住八郎左衛門

尉治吉守田。構ノ城主魚住範吉ノ弟也
至天正守レ之同六年落城

寺村。構城飾西郡
菅生庄

嵯峨山福千代満信後号ニ孫四郎ニ又帶刀左衛
門天文六年初築レ之居城

同左助家信同子
相統 同与左衛門信次同子也相
統采地ノ菅

〔二十八丁裏〕

生庄半分也天正
六年為浪人落城

山ノ内。蜂ノ巣山ノ城飾西郡
賀屋郷

大河内民部太輔満政赤松氏応永年中初為ニ
居城ニ不レテ久カラ而破城矣

宮野辺天神山ノ城飾西郡
賀屋郷

大河内播磨守満則赤松則祐四男也采地
賀屋郷初築レ之居城也 同

兵部少輔友則同舍弟也
相統居城 同三郎満直大河内
満政ノ子

也相統也嘉吉
元年落城也

英賀城飾西郡
英賀保

赤松常陸介則尚赤松祐尚ノ子也初築レ之居城
嘉吉元年落城也

同構

〔二十九丁表〕

自赤松氏「賜」当保内「海辺為」要害「守」之太将五

人三木与市兵衛井野甚兵衛。友重六郎右衛

門。三木理兵衛。友重宗兵衛也而ノ羽柴秀吉当

国ニ乱入ノ之時攻^レ之侍六十三騎楯籠^テ不^レ落為^レ扱

天正八年八月開破矣

附城 飾西郡
英賀保

天正六年羽柴秀吉攻^{ニル}英賀ノ構^{一ヲ}時之附城也

山崎山ノ砦 飾西郡
英賀保

天正六年羽柴秀吉攻^{ニル}英賀ノ構^{一ヲ}時之附城也片

桐市之丞 守^レ之

〔二十九丁裏〕

安田。構城 飾西郡
岩ノ之東ノ郷

浅見常有同常見同常愍 相統居^{シテ}而^{シテ}魚住左近

太夫範吉 守^レ之天正
年中落城

町ノ坪城 飾西郡
岩ノ之西郷

黒田兵庫 居城所^ニ天正五年属^ニ
羽柴秀吉^ニ時破城也

(以下余白)

〔三十丁表〕

林田城 揖東郡
林田庄

本郷信濃守 采地林田^{庄。居城也} 同二郎兵衛尉 養子也
実父^ハ者

宇野下総守政頼四男也相統所
天正八年五月為^ニ羽柴秀吉^ニ落城

佐見山城 揖東郡
林田庄

天正八年羽柴秀吉攻^ニ穴栗宇野^{一ヲ}時之附城也

金鶴部^{カナツルベ}ノ城 揖東郡
香山郷

香山右京 文明元年初^{為^ニ居城^一也} 同肥前守 同子
相統 同加賀

守 同子 同越中守 同子也。紀氏^ハ相統居城所天
正八年為^ニ羽柴秀吉^ニ落城也

井原^{イノワラ}ノ城 揖東郡
越部庄

衣笠備前守 居城所天正
八年落城也

〔三十丁裏〕

衣笠山城 揖東郡
上岡ノ郷沢田

衣笠左衛門尉正景 居城嘉吉
元年落城

渡中山城^{トナカ} 揖東郡上岡
郷入野

戸野岡右馬允 居城所天正六年
為^ニ羽柴秀吉^ニ落城

笠松山城 揖東郡
上岡郷田中

笠松彈正左衛門尉 居城元弘元年
赤松円心攻落

横大市ノ城 揖東郡
上岡郷

喜多野新兵衛尉 守レ之采地上岡郷半分
天正年中落城也

(一行空白)

城尾ノ城 揖東郡
伊勢保

(三十一丁表)

城所与三郎 九州。原田ノ二郎種直十八世ノ孫也
家紋居笹也采地伊勢保。作州ノ内

文明元年初築レ之 同与三郎同与三郎同惡兵
為居城也

衛尉貞直 相統居城ノ所背ニ赤松ノ命ヲ故ニ天正元年
小国藤二郎攻レ之落城也

太田ノ城 揖東郡
太田郷

三浦大介義明 初テ築レ之
守レ之

広岡刑部少輔則弘 再營シテ之為ニ居城ニ
采地太田郷 同刑部少

輔教貞 養子也実父ハ者赤松
伊豆守貞村ノ男相統 同兵部少輔範行

同左馬助元範 同子相統
同二郎元助 同子相統此ノ時

賜明石郡 同子相統ノ所ニ天正五
年冬為ニ羽柴秀吉ニ落

城也

(三十一丁裏)

立岡山ノ城 揖東郡
鵜庄

建武年中攻ニ赤松円心一ヲ時新田義貞為ニニ附城ニ居
レ之ニ陣兵ヲ於遣ニ白幡ノ城ニ也

(以下余白)

(三十二丁表)

龍野玉川城 揖西郡
伊保庄

隅戸菅家 初築レ之為ニ居城
元弘年中

浦上信濃守則宗 自ニ忘。元年一移ニ
為ニ居城ニ也后ニ□于室津城ニ也

赤松伊豆守從三位政則 号ニ隱居城ニ少時ノ
居レ之不シテ久ラ破レ城ニ

赤松下野守政秀 天文元年壬辰山上ニ再ヒ築レ之
為ニ居城ニ西播磨半国ノ守護也

元龜元年十一月十二日備前国浦上遠江守
宗景。同浮田和泉守直家急ニ来テ攻レ之政秀自害

落 同左兵衛督広秀 同子也自ニ元龜三年再為ニ
居城ニ天正五年移ニ于但州

竹田城ニ

中陣山城 揖西郡
浦壁庄

紀秀村 初築レ之
為ニ居城ニ 而后赤松掃部助則勝 采地揖
保庄小

(三十二丁裏)

宅郷浦壁庄也自ニ
文明元年居城矣

室津加茂城 (揖)
飾西郡
加茂庄

赤松田心 元弘年中初築之本郷掃部助直頼
赤松雅樂助則頼為二兩將防三西国海

路其ノ后使シテ 赤松治部少輔教弘 自明德年中二居
家臣守レ之 城同三年移三于

河内郷伝ノ城ニ
使シテ家臣守レ之

『重』

浦上美作守則宗 再當^(ママ)之自文明元年
使^レ居^レ之采地。赤穂。佐用。伊穂

之内并 同掃部助村宗 又号石見守長子也 同
作州内 相統而為三居城也

美作守政宗 同長子 同孫之進宗景 同子也相
也相統 統所永祿

九年正月十一日宗景婚禮ノ夜為三赤松下野守
政秀落城也政宗ハ者自害宗景ハ者走三備前ノ国也

〔三十三丁表〕

黒崎本山城 揖西郡
賀茂庄

萩原孫二郎光則 赤松田心弟也元弘
年中初築レ之為三居城 在田弥

二郎師則 赤松信濃守範資二男
自三永德年中二居城也

同武山城 同所西
之丸

萩原孫四郎敦則 萩原光則子也
自三建武年中二居城

伝之城 揖西郡
河内郷

赤松治部少輔教弘 明德三年初築レ之
為三居城 同左京

亮教久 同子 同又二郎九久 同舍弟也相統ノ所ニ
相統 嘉吉元年落城也

『重』

赤松刑部少輔政資 元久二男也自文明元年
再當^レ之為三居城也揖東揖

〔三十三丁裏〕

西両郡之守護其后
城代守^レ之元龜年中破城也

鍛冶山城 揖西郡
河内郷

赤松治部少輔教弘 文明元年初築レ之為三城代
八木氏沢氏両臣守^レ之

肥塚和泉守 相統而 同美作守 同弟也相統^{シテ}守
守^レ之 之所三元龜年中

落城

養久ノ乙城 揖西郡
片嶋庄

平位備中守八道淨理 采地^(カ)平
位ノ庄。居城 同備中守祐

利入道真喜 養子也実父赤松
村秀二男也名跡 落城 永祿。年
十一月七

日為三上意三畿内ノ諸勢。和田。池田。伊丹。塩川。以下
同三木。龍野。勢加^リ攻^レ落也

長谷山城 揖西郡
片嶋庄

〔三十四丁表〕

長谷川政時 初築^レ之
為三居城 広瀬又二郎師満 自三明応
年中二居

城也 衛藤但馬守 相統居城ノ所三天文
年中於三飾西郡青山ニ討死 同越

中守 同長子也相統居城ノ所三天正二年
病死無三嗣子ニ故ニ破城矣

高明山城

揖西郡布施郷
古記曰平位庄ト

乙春朝臣

孝徳天皇三世ノ孫也播作ノ守護也元
正天皇御宇初築之為二居城ニ不レテ久ラ破ル

赤松円心

建武年中再築之
使シテ家臣ヲ守レ之
同上総介義則 自ニ
応

安年中居城永徳年中移テ
白幡城ニ也而ノ后破城也

亀ノ山城

又城ノ山又木ノ山
揖西郡平位郷

揖穂郡悪党等初テ構ヘル之故ニ天徳年中藤原ノ將軍

舎人文修攻レ破ハト矣

〔三十四丁裏〕

赤松円心

建武年中再營シテ之使シテ家臣
佐用兵庫家則一守之 在番ノ城

赤松太膳太夫満祐入道性具

自ニ永享七年一為
居城嘉吉元年

閏九月十日
自害落城也

金下城

揖西郡
平位郷

衣笠二郎左衛門尉

文明元年テ初築レ之為二居城一
采地ハ土ハハセ師村。桑原庄。竹一萬

村。藤原ノ定
家之末孫

同二郎 相
同二郎 相
同但馬守氏定

相統居城ノ所ニ天
正中破城矣

〔以下余白〕

〔三十五丁表〕

長水城

又朝水又手水
六栗郡伊沢庄

広瀬遠江守師頼

赤松信濃守範資
四男初築レ之居城 同出羽守

頼康

同子 同土佐守則親 養子実父ハ赤松筑
前守貞範子相統 同

左近將監満親 同子
相統 同兵庫助親茂 同子相統
所ニ嘉吉元

年落
城也 『重』

宇野四郎入道加順 自ニ文明元年一
再營レ之居城 同越前守村

頼 同子 同下総入道政頼 又祐頼矣
相統居城 同民部太

輔祐清 同二男也相統居城ノ所天正八年五月
九日為ニ羽柴秀吉一生害落城也

牧谷城

六栗郡
伊沢庄

下村二市 宇野長臣
居城 同丹後

相統所天正
八年落城

〔三十五丁裏〕

篠丸城

六栗郡
高家ノ庄

赤松越前守顕則

筑前守貞範ノ長子也初築レ之
居城而后移ニ于飾東郡庄山

城也

宇野蔵人光景

宇野入道政頼ノ長子也居城ノ所ニ
天正二年父子不和故命ニ家臣ニ

殺レ之 内海左兵衛 為ニ城代一守レ之也
天正八年落城

鷺築山ノ城

六栗郡
石造庄

当城^ハ者笹^一丸^ノ城^ノ之輔城也

構^ノ城^{完栗郡高家ノ}
庄五十波^{イカハ}

宇野下総入道祐頼^{号ニ隱居^一}
居^レ之

岡城^{六栗郡神戸ノ郷}
又号ニ宮山城^一

〔三十六丁表〕

安積伊勢守時治^{持^レ之嘉吉ノ乱ノ時赤松又ニ一郎}
元久守当城同八月落城也

『重』

岡豊前守^{天文年中再當^{シテ}}
之^レ為^ニ居城^一也 同豊後守^{相統居城}
永禄年中

移^ニ于赤穂郡^一
下土井^{城ニ也}

安積瑞泉寺山城^{安栗郡}
安積^保

安積太郎兵衛尉盛氏^{又号ニ出羽守^一}
元弘年中居城 同平次

右近将監盛兼^{同子}
相統 同伊勢守時治^{同子也相}
統居城^所

嘉吉元年
落城也

（一行空白）

安積備中守^{自^ニ文明元年^一}
再當^レ之居城 同平四郎^{同子}
相統 同左

〔三十六丁裏〕

近将監^{同子}
相統 同小次郎将監^{同子相統天}
正年中破城

福^知知山^ノ城^{六栗郡}
二方庄^二

田路^{タウヂ}郎五郎^{文明元年初}
築^レ之^ニ為^ニ居城^一 同孫太郎^{同子也}
相統也

采地^三 同若狭守^{同子也}
相統 同五郎左衛門尉^同
子

也相統居城^{所ニ}
天正年中落城

二方城^{六栗郡}
三方庄

田路氏^{自^ニ文明元年^一至^ニ}
天正年中^一守^レ之

波賀城^{六栗郡}
波賀庄

中村右馬九光時^{初築^レ之^ニ為^ニ居城^一}
采地波賀庄也 同右馬三郎

時広^{同子也}
相統 同新三郎宗広^{同子也相}
統早也 同二郎^{世カ}

〔三十七丁表〕

左衛門尉時基^{時広ノ舍弟}
相統居城 同五郎三郎業貞^同
子

也相 同貞景入道有蓮^{同子也}
相統 同河内守頼時

同長子 同永忠入道見蓮^{同子也}
相統 同十郎家政

同子也相 中村五郎三郎貞季^{河内守頼時弟}
統早也 也相統居城

同新左衛門尉季景^{同貞季弟也}
相統 同弥五郎時

景^{貞季子也}
相統居城 同備中守時信^{同子也}
相統 同新五郎

時重^{同子也}
相統 同新左衛門尉時隆^{同子也}
相統 同三

郎左衛門尉宗時同子也 同三郎左衛門尉宗

国同子也 同三郎左衛門尉宗定同子也 同土

佐守宗秀同子也 同三郎左衛門尉吉宗相統

〔三十七丁裏〕

所天正十
五年落城

千草城六栗郡
千草郷

包里四郎右衛門居城天明十七年依逆心命シテ
大河原九郎二郎討之

大河原九郎二郎自文明十七
年居城 同因幡守時之

同子也相統采地ハ完栗郡内本領ハ者
安賀村同神戸郷三分一後千草郷半分 同備

中守之清同子也 同与市直清同子也為中村
土佐守宗秀敗

北石原四郎兵衛尉自天文十九年居城
天正八年五月落城

烏帽子岩ノ城宗栗郡
三川庄

香山備前守初築之為居城永祿年中
為但州山名氏落城也

（一行空白）

〔三十八丁表〕

徳久城佐用郡
上津郷

柏原弥三郎為永初築之建保
年中居城

熊見山城佐用郡上津
郷。米田

佐用三郎左衛門尉範家赤松季房六代孫也
初築之建武年中居

城也 宇野左衛門太郎宗清赤松季房七代孫也
居城

同太郎宗頼同子也 同太郎宗重同子也相統
所嘉吉元年

落城 『重』

宇野民部太輔祐清永祿年中再營シテ之居城天
正八年破城

円応寺。北山ノ城佐用郡
江用郷

宇野新太夫將則永松播磨權守頼範四男也
初築之居城建久年中

〔三十八丁裏〕

長谷高山ノ城ナカニカウヤマ
佐用郡
江川庄

赤松伊豆守則景初築之自建
久八年居城

平福利神山城リカン
佐用郡
江川庄

内海修理藤原姓熱田ノ太宮司ノ末孫
初築之元弘年中居城

『重』

別所日向守再營シテ之
居城 横野助兵衛尉宇野ノ幕下
守之天正

八年落城 服部勘介浮田中納言秀家臣
守之慶長五年落城

小屋場山城コヤハ
佐用郡江川郷
豊福村

別所敦範 赤松円心孫也貞和五年賜_下自_二尊氏_一將軍_一當所_上築_レ之居城采地_ハ豐福村也

西本郷山城 佐用郡西庄

〔三十九丁表〕

本郷掃部助直頼 初築之居城也建武年中也赤松信乃守範資_二男_一〔濃〕

『重』

富_ト山藤内 備前浮田中納言秀家臣再營_{シテ}當城_一守_レ之所慶長五年落城也

上月城 佐用郡西庄

上月十郎 居城所天正五年十二月二十五日為_二羽柴秀吉_一落城上月兄弟自害

山中鹿之助幸盛 秀吉為_二城代_一居_レ之天正六年四月毛利志馬頭輝元攻落_五

間嶋右馬助祐貴 輝元為_二城代_一居_レ之同年中羽柴秀吉攻_レ之降參落城也

仁位山城 佐用郡西庄

天正五年攻_二上月氏_一時附城也 安藤信濃守八百騎太將_{ニテ}居_レ之

円光寺山城 佐用郡西庄

〔三十九丁裏〕

天正五年攻_二上月氏_一時附城也 花房助兵衛尉三百騎_ノ大將_ノ居_レ之

山脇。高倉山城 佐用郡西庄

天正五年攻_二上月氏_一時附城也 羽柴秀吉公居_レ之惣太將

久崎。飯野山城 佐用郡西庄

天正五年攻_二上月氏_一時附城也 飯塚監物八百騎_ノ大將_{ニテ}居_レ之

浅瀬山城 佐用郡西庄久崎

孝橋新五郎秀時 赤松円心九代孫也天文年中初築_レ之居城也

間嶋左馬助 孝橋城代也天正五年為_二羽柴秀吉_一落城也

海田。杉坂山ノ城 佐用郡西庄

〔四十丁表〕

赤松円心築_レ之當國為_二関所_一在番侍守_レ之嘉吉

元年破城也

佐用構城 佐用郡西之庄

七条孫四郎貞義 赤松則房孫也采地同郡平尾村慶長五年為_二浪人_一

（以下余白）

〔四十丁裏〕

苔縄城 赤穂郡赤松庄白幡山西丸也

赤松帥律師則祐 居城也 同兵庫助義房 同子也相統

而后_ハ白幡城主_ノ一所_ニ領矣

感狀山城 赤穂郡矢野庄下田

赤松則祐 初築之建武年中居城後移于苔縄城也

〔一行空白〕

赤松二郎義村 赤松円心九代孫也文明年中再營之居城后移于置塩山城

号政岡豊前守 居城也元龜年中落城也

〔一行空白〕

飯野山城 赤穂郡矢野庄森村

○右行上余白に朱印あり。

〔四十二丁表〕

赤松下野守村秀 居城也 同下野守政秀 同子相続居城

所天文元年移于揖西郡龍野城也

〔一行空白〕

新山寺城 赤穂郡高田郷

高田兵庫助 源三位頼政六代孫也元弘年中赤松円心攻落也

鍋子山城 赤穂郡有年庄東有年村

神口重豊 井上肥後守源頼清末葉也元龜年中居城也 戸田右京居城

経於三年移于同所八幡山城八幡山城居城所備前浦上遠江守宗景攻落也

岡豊前守 自天正年中居城矢祿年中破城

大鷹山城 赤穂郡有年庄

〔四十二丁裏〕

本郷弥三郎直頼 赤松信乃守範資三男也采地佐用郡舟曳庄曆応年中

居城

小田弾正 再營之元龜年中居城也 同小河丹後守秀春 養子

也実父者孝橋修理亮秀光三男也采地小河庄也相続居城所天正五年落城也

小鷹山城 赤穂郡有年庄

小田治内 小田弾正実子也居城所天正五年十一月小河丹後守秀春攻之于時

自城三牧木戸討出防戦爰有年村住人三宅与市兵衛同名与三左衛門加勢依之丹後守

於当城討死也其后落城

駒山小聖寺城 赤穂郡安室庄井上村

安室五郎義長 赤松氏天文年中初築之居城 同新五郎 同子幼

〔四十二丁表〕

稚故長臣長船越中守之天正五年同所筑間村住人小田氏吉田氏内海氏片嶋氏四人侍攻之不落爰苔縄村浪人高見治部夜討放火故落城也長船越中者其儘属羽柴秀吉

大聖寺城 赤穂郡安室庄下村

赤松出羽守満貞 初築レ之居城也。応永年中。采地者赤穂郡十二箇所備前和氣郡也。

安室五郎義長 采地安室庄也。天文年中。移于同所小聖寺城也。 同大

炊助 相続居城所天。正年中落城也。

井ノ山ノ城 赤穂郡有年庄。別名村。

別名河内守 赤松則祐末葉。天文年中居城。 花房助太夫 居城。天正。

年中破城。

〔四十二丁裏〕

坂越城 赤穂郡坂越浦。

湯浅加賀守 初居城。藤原姓。 同長門守則宗 同子也。相続。天正年。

中於龍郡城亡。

大嶋城 赤穂郡矢野庄。郡波浦。

海老名伊勢ノ守 居城也。 同弥三郎兼貞 相続也。正長二年采。

地矢野庄例名ノ内。郡波浦分地頭職同庄内下村半分地頭職同揖東郡越部ノ上ノ庄公文職等也。

同弾正 相続居城。

尼子山ノ城 赤穂郡坂越庄高野村。

尼子将監 守レ之天文年中討死。 戸田氏 守レ之天正年中落城。

（一行空白）

〔四十三丁表〕

追加

嶋村之城 印南郡平津庄。

嶋村弾正左衛門尉盛貫 居城赤松義祐長臣。天正年中破城也。

（以下余白）

〔四十三丁裏〕

（空白）

右城記者以ニ古記元禄年中劍持一愚斎源長視集成 長視（花押）

〔四十四丁表〕

赤松家播備作城記下

〔四十四丁裏〕

高屋城者備中サカヘニて津山より西

南当リ道ノリ入リ御座候 （ママ） 次第

（苦以下同）
笥南郡 久米部北分

吉野郡 笥北郡

英田郡 勝田郡南分

笥西郡 大庭郡

真嶋郡 久米郡南分

勝田郡北分

〔四十五丁表〕

赤松家播備作城記卷之下

美作部

美作国

当国者建武乱以後赤松筑前守貞範賜一國

守護職而后康安二年被没収賜山名左京太

夫時氏一明德二年山名陸奥守氏清依一謀反一亡

赤松上総介義則一國捍領嘉吉元年赤松太

膳太夫満祐入道性具依一謀反一亡山名。教清一

修理太夫

國捍領応仁乱出来時細川勝元依一知一赤松

兵部次郎政則播州発向又備前美作乱入山

名敗北依一之政則領作州之守護代者江見下

〔四十五丁裏〕

総守劍持美作前司也江見者東郡劍持者西郡

守護代也永正末比赤松家漸衰備前守護代

浦上背一赤松一自立備前大乱美作者天文之比

雲州尼子義久同晴久乱入江見下総守劍持

美作前司入道等防戦両将凡一討依一之作州諸

将大半為一尼子幕下一此時晴久領国天文九年

雲州伯州因州作州備前備中備後石見安芸

也同十年為一毛利元就一尼子敗潰永禄元年元

就中国乱入先備前一浮田一為一簗下一同備中備後

美作諸侍随伏永禄七年尼子亡元龟元年浮

〔四十六丁表〕

田備前一國美作半國領背一毛利依一是三村修

理亮家親六千余騎卒当国政入弓削城陷同

八月三村為一浮田一凡一討天正三年浮田降一毛利一

作州諸侍毛利為一簗下一同六年受一織田平信長

公ノ命一浮田備前美作領其子權中納言秀家賜一

播州佐用郡二領慶長五年関ヶ原出張罪故当

国諸侍亡

(一行空白)

英田郡勝田郡^(ママ)咎東郡 江見下総守旗頭也

久米郡真嶋郡咎西郡大庭郡劍持美作前司

(四十六丁裏)

(空白)

(四十七丁表)

赤松家播備作城記卷之下

美作部

○吉野郡

赤田城^{吉野郡}小房^{ヲフサ}ノ城^{同郡} 栗井^{カツラツホ}庄 桂坪^ノ城^{同郡} 大野庄

仁重寺^{ニシウジ}ノ城森山。寺山城^{同郡川} 上庄 右之城王^{ヲウノ}笏彈

正忠民永康安年中兄弟六人^(氏カ)ニテ而守^レ之也^{王笏氏者}

聖武帝御宇大野東人為^ニ国司^一当国下向而住
則神社有^レ之也康安年中大野城主大野彈正

忠氏永同子式部太輔氏家同子治部介同子
大助同子小四郎同子彦四郎代々相統

赤松貞範^{シタ}ノ下城草木城^{ソレヲ}揉尾^ノ城影石城塔^(ママ)尾城

新宮城神実城竹山城^{是木城}

赤松則祐ノ下城小原城石塔城吉野城林野城

(四十七丁裏)

妙見城

赤田城^{吉野郡大野庄赤田村}
一名^{ハイ}坪高^ノ城

天野彈下忠氏永持康安年中^(正カ)

草薙与次景春持天正六年新免伊賀守宗貫

攻落也

吉野城^{同郡吉野庄壬生川村}
戸尼城

赤松則祐持^{建武}年中 江見出雲守居城天文年中

為^ニ雲州尼子^一落城同伊豆守久資居城天正年

中同兵太^{伊豆守養子也実父}
劍持土佐守次男也 相統居城慶長

五年関ヶ原出張故亡

(四十八丁表)

石塔城^{タテス} 同郡立石村

赤松貞範^(持)待康安元年山名時氏攻落也

竹山城^{同郡下町村}

新免彈正太夫貞重入道宗応居城文明年中^{シメシ}

同伊賀守宗貞貞重子 同伊賀守宗貫宗貞養子 實父宇野

下総入道政頼 三男也 相統居城慶長五年関ヶ原出

張故落城也

山王山城 同郡尾崎村

新免彈正少弼宗政居城

鞍懸城 同郡田殿村

〔四十八丁裏〕

有元和泉守佐用美濃守貞久為二両将一建武年

中守レ之

会下城 同郡古町村

（一行空白）

高山城 同郡馬形村

（一行空白）

小房城 ヲフサガ 同郡小房村

別所藏人居城文明年中而后有元宗兵衛尉

天正中守レ之 草薙三郎左衛門尉 景継ノ城代也 新免伊賀

守宗貫攻落為二城代一 大野新左衛門尉同与次

〔四十九丁表〕

郎守レ之

高山城 同郡勝部村

栗井一族居城

高畑城 同郡勝部村

湏々木主計

中村城 同郡粟井庄

菅家一族居城

寺山城 同郡大野庄 川上村

劍持土佐介居城天文年中同又次郎相統居

城慶長五年関ヶ原出張故ノ亡 領知瀧村桂坪 村小房村也

〔四十九丁裏〕

小原城 吉野郡

小原孫次郎入道居城康安元年七月山名時

氏攻落也

宇野新次郎家貞居城寛正年中新免彈正太

夫貞重入道宗応居城文明年中移二于同所竹

山城也

塔尾城 同郡影石村
長尾村

悪七兵衛尉景清持平治年中而后赤松貞範
持建武年中

(一行空白)

○管郡 南分

〔五十丁表〕

升形城 管南郡藤屋村

福田玄番勝昌同助四郎盛昌居城天文年中

中村大炊助頼景攻落

比加美^{ヒカミ}ノ城 同郡寺和田村

小瀬勘兵衛尉

相坂城 同郡真経村

小瀬勘兵衛尉持

神楽尾城 同郡田ノ邑村

山名孫四郎義景居城文明年中

(一行空白)

〔五十丁裏〕

○管郡 北分

高山城 管北郡山下村

草苅三郎左衛門尉景繼 仁明天皇五十三代
孫草苅加賀守平繼

長男也 居城同弟対馬守重繼相続居城也

伝曰天正七年景繼為_二当郡_ヲ伐_一取_一因州宇塚

越_ニ雑兵五万余卒長尾村迄発向_{シテ}而佐淵_ニ本

陣取武者奉行絹田兵部太輔景春_ト新免伊

賀守長重家臣新免治部左衛門尉_ト相_一戰之

内_ニ長重之男二郎以_ニ武略_一景繼景春之先手

之間取切押寄絹田_ヲ討取景繼旗本大敗北_{シテ}

〔五十一丁表〕

筏津迄引所新免父子大将景繼同一族悉討

取訖因_レ茲景繼墓所有_ニ筏津_一也云云

室尾城 同郡室尾村

川端左近居城天文年中亡

伝曰天文正月二十四日鹿_ヲ煮_テ賜_ニ近習ノ児性_一
(脱アルカ) (姓)

児性曰今日愛岩精進^(右)也^{ナリ}辞^{シテ}之不^レ食左近曰

神慮^ト忠^ト勝劣如何^{シテ}而不^{ルヤト}喰^セ哉終^ニ強^テ令^{レム}喰^ハ此者

忽^ニ狂乱左近之眉ノ間ノ三刀切左近則討留也

左近翌日二十五日卒年五十

同丹後守居城天正年中

〔五十一丁裏〕

多^タ宇^ウ多^タ山城 同郡大篠村

赤松宮内少輔師範

横田城 同郡上横野村

田中修理

天神山城 同郡上横野村

江見左衛門佐持天文年中為^ニ尼子^一落城

高山城 同郡知和村

(一行空白)

医王山城 同郡綾部村

(一行空白)

〔五十二丁表〕

行重山城 同郡行重村

(一行空白)

杉山城 同郡青柳村

赤松土佐守則久^{赤松貞範六男}居城応永年中

百々城 同郡百々村

草苅一族居城

年本城 同郡上横野村

福田助四郎盛昌持天文年中

勝山城 同郡上横野村

福田助四郎盛昌持天文年中

〔五十二丁裏〕

別所城 同郡上高倉村

山名入道忠重居城

大山城 同郡大篠村

(一行空白)

藤田城

(一行空白)

岩尾城 同郡吉見村

山口周防守居城建武年中

福田三郎盛清弘治年中持而后斎藤玄番^(蕃)浮田

和泉守直 家臣 天正年中持

〔五十三丁表〕

八臥城 同郡綾部村

（一行空白）

○笹東郡

荒神山城 笹東郡日上村

華房助兵衛尉 浮田臣 持天正年中

（二行空白）

○笹西郡

眼崎城 笹西郡下原村

浦上左馬助行豊持

〔五十三丁裏〕

カツラフリノ城 同郡山城村

中村大炊助頼宗居城天正年中 中村臣桜井越中守^{二当城一}

西浦城 同郡養野村

大原主計

フタツ 二山城 同郡同村

湯野藤右衛門尉

小田草城 同郡馬場村

斎藤玄番^(蕃)

西屋城 同郡西屋村

川端周防守

〔五十四丁表〕

構城 同郡院之庄村

片山本工助久義^(木)

二之宮城 同郡二之宮村

立石掃部助久朝

（二行空白）

○英田郡

土居福城 英田郡土居村

江見帶刀秋仲居城天文年中

大畠城 同郡山外野村

〔五十四丁裏〕

角南法印

三皇山城 同郡明見村

後藤左衛門尉勝基居城天文年中浮田和泉

守直家攻落城代中嶋木工介岡市之丞守_レ之

尼ヶ城 同郡比山村

(一行空白)

糸山筑紫城 同郡園村

(一行空白)

小矢田城 同郡小矢田村

(一行空白)

〔五十五丁表〕

下大谷城 同郡下大谷村

(一行空白)

吉田城 同郡吉田村

(一行空白)

倉敷山城 同郡倉敷村
林野庄

江見又次郎景利居城建武年中

山名氏守居城 山名時氏臣五六
代相統

河副美作守久盛居城天文年中 凡子臣河副美作守家_{ヤフキ}葺
石見守幸堅為兩将守_レ之也

北原城 同郡猪臥村

山名伊臥入道居城明德応仁年中
(豆)

〔五十五丁裏〕

奈良原城 同郡_{ナラ}檜原中村

山名蔵人

下山城 同郡下知村

(一行空白)

勝間山城 同郡位田村

(一行空白)

鷺山城 同郡飯岡村

皇香藤内

城尾城 同郡神田村

渋谷権之進

〔五十六丁表〕

鷹巢城 同郡海田村ミカイタ

江見次郎後号ニ居城
越中一

上之山城 同郡上山村

延原彈正少弼浦上遠江守
宗景臣居城永祿年中

横尾城 同郡

山名

神宮城 同郡新田村

木下道光

志屋宇加与古手ノ城 同郡瓜
生原村

（一行空白）

〔五十六丁裏〕

神田山城 同郡為本村

難波九郎左衛門尉

姥ヶ城 同郡羽仁村

難波九郎左衛門尉

金風呂城 同郡行信村

浦上左馬助行豊居城

上間城 同郡百々村

浦上左馬助行豊持

江見城 同郡鯉村

江見若狭守居城同右門（ママ）太夫同若狭守相続

〔五十七丁表〕

居城天正年中

友野城 同郡

江見下総守盛祐居城天文年中為ニ尼子ニ落城

（二行空白）

○久米郡北分

平福寺城 久米郡公文村

毛利左近入道

円宗寺城 同郡同村

（一行空白）

〔五十七丁裏〕

天神山城 同郡下打穴村

吉川藏人広家 毛利輝元臣 持天正年中

高山城 同郡由木村

江原兵庫頭持

構城 同郡神代村

川原四兵衛尉 (マ)

鬼山城 同郡下打穴村

(一行空白)

鶴田城 同郡和田南村

堺和八郎

〔五十八丁表〕

高山城 同郡角谷畝村

竹内源十郎

高土城 同郡堺尾村 (カ)

竹内友長

鳥越城 同郡上打穴村

吉川

中山城 同郡里村

江原兵庫頭持

一之瀬城 同郡堺和村

竹内中務

〔五十八丁裏〕

高陳城 同郡同村

尼子

岩屋城 同郡坪井中北村

中村大炊助頼景居城天正年中

神楽尾城 同郡真経村

今村越前守居城天正年中

(以下余白)

〔五十九丁表〕

○久米郡 南分

立畑城 久米郡上二ヶ村

(一行空白)

草木城 同郡下二ヶ村

赤松孫次郎

菅納左衛門佐居城天文年中浦上遠江守宗

景攻落

蓮下地城 同郡同村

難波十郎左衛門尉

小松城 同郡同村

〔五十九丁裏〕

沼本新右衛門尉

大上城 同郡下二ヶ山手村

（一行空白）

安盛城 同郡上神目村

佐用三郎左衛門尉

伊勢畑城 同郡下神目村

赤松筑前守貞範持建武年中而后赤松上野

□^{（介力）}居城而后牧野玄番^{（蕃）}居城天文年中

不々山城 同郡同村

（一行空白）

〔六十丁表〕

下風城 同郡同村

（一行空白）

龍王山城 同郡下糴村

岸備前守

奥谷城 同郡南庄村

（一行空白）

大谷城 同郡原田西村

（一行空白）

是久山城

（一行空白）

〔六十丁裏〕

稻荷山城 同郡原田東村

原田三河守同平定佐居城

新庄山城 同郡同村

赤松兵部少輔

山上城 同郡山上村

（一行空白）

登々免喜山城 同郡 大戸村

赤松修理太夫政顕 赤松筑前守 貞範四代孫 持川端虎之

助居城天文年中

間鍋山城 同郡 井口村

〔六十二丁表〕

嵯峨山城 同郡 中嶋村

（一行空白）

丸山城 同郡 福田村

（一行空白）

神原山城 同郡 小桁村

（一行空白）

皿山城 同郡 院之庄 皿村

菅沼蔵主居城而后赤松治部少輔教弘居城

明德二年移于播州揖西郡室津城也而后福

田和泉守居城天文年中而后立石掃部居城

〔六十一丁裏〕

天正年中伊利谷河内守長昌

荒神山城 同郡 荒神山村

花房助兵衛尉真次居城天正年中

（二行空白）

○勝田郡 北分

新宮山城 勝田郡 福井村

（一行空白）

金剛寺城 同郡 新野村

山名忠村上野対馬為二両将一守之

〔六十二丁表〕

烏帽子形城 同郡 同村

岡本彈正入道広家居城

吹山城 同郡 同村

岡本次郎広実居城

矢檣城 同郡 市場村

広戸掃部助居城自二建武年中一代々天文年中

為二尼子一亡岡本新三郎広義居城

細尾城 同郡 宮内村

福田助四郎盛昌

菩提寺城 同郡

〔六十二丁裏〕

江見守信入道居城平治年中

有元民部太輔居城建武年中

江原兵庫頭居城同万五郎同藏人頭相統居

城天正年中落城

名木仙ノ城 同郡同村菩提寺城之上

有元六郎佐高居城建武年中

福田孫八居城天文年中

鎌倉山城 同郡高桑村

江見兵庫頭持

尾房城 同郡久賀村

〔六十三丁表〕

有元惣兵衛尉

大町山城 同郡大町村

大町甚右衛門尉

真加山城 同郡真加部村

原与次郎

河内山城 同郡河内村

有元遠江守

中嶋山城 同郡中嶋村

有元勘四郎佐広

岩黒倉山城 同郡田熊村

〔六十三丁裏〕

井上

宮山城 同郡植月村

植月彦五郎

金山城 同郡

大谷佐助

堀坂城 同郡

芦田右馬助居城天正年中

○勝田郡 南分

田淵城 勝田郡金井村

(一行空白)

〔六十四丁表〕

為本城 同郡為本村

(一行空白)

入田城 同郡入田村

後藤撰津守勝基持天文年中作州半国之太将

金室城 同郡行延村

(一行空白)

下山城 同郡下山村

(一行空白)

鷺山城 同郡飲岡村

江見次郎

〔六十四丁裏〕

月田山城 同郡

檜崎弾正少弼元兼居城天文年中 美作三分一太将

(二行空白)

○大庭郡

中村城 大庭郡上河内村

(一行空白)

湯本城 同郡湯本村

牧野源内

篠向城 同郡三崎村

〔六十五丁表〕

飯田氏居城康安元年山名時氏攻落

江原兵庫頭持天文年中浮田和泉守直家持

家臣守_レ之

湯山城 同郡湯原村

宇喜田平右衛門尉盛重居城

寺畠城 同郡久世山形村

牧勘兵衛尉 牧兵庫子

多田山城 同郡久世村

沼本新右衛門尉

板牧城 同郡赤野村

〔六十五丁裏〕

牧藤右衛門尉

高山城 同郡檜村

岩佐勘解由

揉尾^{ソレヲ}城

弓削壺岐守居城文明年中

○真嶋郡

上山城 真嶋郡上山村

由井宗四郎

十六城 同郡下方村

(一行空白)

〔六十六丁表〕

槓山城 同郡鹿田村

鈴木孫右衛門尉

志美^{シミ}山城 同郡乗水村

井原佐右衛門尉

横塚城 同郡神代村

(一行空白)

飯山城 同郡藤森^(村)林

(一行空白)

岩井城 同郡岩井村

河内兵庫助

〔六十六丁裏〕

佐引城 同郡佐引村

(一行空白)

関山城 同郡関村

(一行空白)

色山城 同郡中村

三輪与三兵衛尉

栗原城 同郡栗原村

栗原惣兵衛尉

高屋城 同郡高屋村

剣持美作前司入道居城同市又次郎相続^(ママ)

〔六十七丁表〕

赤松筑前守 居城天文年中
貞範後胤也

本山城 同郡本村

源修理丞秋行

手谷城 同郡手谷村

池田新兵衛尉 牧左門
家臣

三堂城 同郡三堂村

沼田太郎左衛門尉

月沢城 同郡中村

小右衛門督直利

宮山城 同郡市瀬村

〔六十七丁裏〕

市瀬三郎兵衛尉 浮田中納言
秀家倍臣

志免^{シメ}山城

小瀬右京進広勝

高田山城 同郡高田村

三浦大介義明持同石田源内 本名三浦
駿河守 建武

年中居城中村大炊助居城赤松淡路守満弘

居城明德年中而后三浦越中守元兼居城天

文中同帶刀兼春居城天正十一年草薙討

馬守重繼攻落浮田和泉守直家持慶長五年

亡

〔六十八丁表〕

本城城 同郡本城村

本城権守居城天文年中三村修理亮。杉某_{利毛}

幕攻落也

（以下余白）

〔六十八丁裏〕

（空白）

右城記者以古記元禄年中劍持一愚齋源長

視集成

長視（花押）

（大村・小林）